

11C-PK11195 PET を用いた外傷性嗅覚障害の治癒過程の検索

【研究の意義および目的】

頭のけがをすると、その後で、匂いの感覚が失われる「嗅覚障害」を起こすことがあります。これは、副鼻腔炎やカゼのウイルスによる「嗅覚障害」に比べると、治りが悪く、改善が見られる人は30%程度と報告されています。治る場合には、脳のけがをした部分に何らかの回復がおこっていると考えられますが、その様子をこれまでの検査法(CT検査やMRI検査)ではとらえることができませんでした。

そこで、PET検査という方法を使って、脳のけがを治すときに増える細胞の集まり具合を明らかにし、同時に嗅覚検査をすることによって、脳のどの回復部位が嗅覚機能の回復につながるかを明らかにしたいと考えています。この研究により、今後頭のけがで嗅覚障害を起こした人の回復の予測や、また未だに明らかになっていない匂いの認知が脳のどこで行われているかを明らかにすることができます。

【研究の方法】

頭のけがをして、嗅覚障害を起こした方は、大抵MRI検査を受けており、脳のどこにけががあるかが分かります。高知大学医学部附属病院でまず1回目のPET検査を受けて頂きます。この検査は60分以内に終わる検査で、けがの周囲に集まると言われる細胞の場所だけを明らかにします。そのあと、嗅覚障害の治療(漢方薬やビタミン剤などの通常の治療)を6ヶ月ほど続け、2回目のPET検査を受けて頂きます。1回目の結果と比較することにより、脳の、どこに細胞があつまってけがの修復がおこると、嗅覚が回復するのかを明らかにすることができます。

【予測される研究の結果】

嗅覚障害の回復には大きく3つのタイプがあります。すなわち、匂いはわかるが全く同定できない場合、匂いに対して何か選択肢を挙げてもらうと同定できる場合、種類は少なくとも正常に近づいている場合です。これらによって、脳のけがの治り具合はどのようにちがうか、明らかにすることができます。

【費用について】

新たにご負担いただくことはありません。

【予測される結果(利益・不利益)について】

該当する方の検査結果には全く影響を与えません。また、不利益を受けることもありません。さらに、この研究への参加をお断りになった場合にも、不利益をこうむることはありません。

【研究と企業・団体との関わり】

この研究には、企業や団体は関与しません。企業等との利害関係はないため、利害の衝突によって研究の透明性や信頼性が損なわれるような状況は生じません。

【研究に伴う補償】

この研究に参加したことによって健康被害等の有害事象が生じる可能性は低いですが、万一薬剤を使用する必要がある場合は研究費により早急かつ適切な治療を行います。

【研究への参加の任意性】

この研究への参加は任意です。あなたの自由な意思が尊重されます。研究に参加しないことによって、今後の診療で不利益な対応を受けることはありません。

いったん参加に同意した場合でも、いつでも不利益を受けることなく同意を撤回することができます。その場合、診療情報が研究のために用いられることもありません。ただし、同意を撤回したときすでに研究成果が論文などで公表されていた場合完全に匿名化されて個人が特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあります。

【研究成果の公表】

この研究で得られた成果を専門の学会や学術雑誌に発表する可能性があります。成果を発表する場合には、研究に参加していただいた方のプライバシーに慎重に配慮します。個人を特定できる情報が公表されることはありません。

【個人情報の保護について】

解析にあたっては、個人情報は匿名化し、その保護には十分配慮します。学会や論文などによる結果発表に際しては、個人の特定が可能な情報はすべて削除されます。

【研究責任者・問い合わせ等の連絡先】

高知大学医学部附属病院放射線科 村田和子
〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮
TEL:088-880-2367